

# 中国出版業界最新事情 2025

## 馬場 公彦

北京外国語大学日語学院・

北京日本学研究所センター副教授

北京第1号店となる朝陽区の  
蔦屋書店  
2024年4月20日開店

# 目次

壹

第31回 北京国際図書博覧会 The31th BIBF

貳

中国出版業界概況報告2024

参

停滞する日中人文系知識交流  
活況を呈する日中大衆文化交流

肆

中国文化の新潮流

# 壹 第31回北京國際圖書博覽會 (BIBF)



- 会期は6月18-22日
- 会場は国家会議中心（朝陽区天辰東路7号）
- 主催は国家新聞出版署、中国図書輸出入株式会社が請け負う
- テーマは“促进文明传承发展 推动交流互鉴共赢”「文明の伝承発展を促進し、相互交流・学習・利益を推進する」
- 主賓国はマレーシア
- 80か国1700社（うち中国600社）が出展、22万種の書籍展示
- 海外からはチリ・キプロスなど9か国が新参加、アラブ首長国連邦と日本の展示ブース面積最大
- 海外からの参加出版社は、ブース出展＋商談（展示フロア） / 商談のみ（ライセンスセンター）の二極化

	前回	今回
会場	国家会議中心	同
期間	6月	同
規模	参加国は15カ国増	参加国は9カ国増
重点	主題出版の「走出去」をアピール、AIと出版 (PubTech)	デジタル展示の充実、ネット文学の特別展示、「黒神話」「悟空」「ナーダ」など伝統文化物語IPのビデオ・アニメ・ゲームなどを展示
特色	国内中心 / ネット文学・ネットゲーム / 児童書 / 海外の有名巨大エージェントが多数ブース参加 / 絵本・美術書・グルメ本・挿画・記念品などの展示コーナー設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6大優良ブランド展示スペース: 主題・哲学社会科学・古書・科学技術・文学芸術・児童書</li> <li>・ 5大特色展示スペース: 絵本・美術書・挿画・グルメ本・世界の記念品</li> <li>・ 国内外の著名作家を招き特別展や対談・座談会イベントを開催</li> </ul>
日本	ブース出展は21社	ブース出展13社、共同壁面30社、ライセンスセンター利用社11社+α
傾向	ライブコマースで展示即売、実務志向の著作権交渉	ライブコマース、漫画・エッセイ・実用書・自己啓発系が人気 従来人気だったビジネス・マネジメント系が不調、心理学・癒し系が人気 児童書は読物・絵本が不調、学習・科学普及物が人気、中国オリジナル志向 日本のコンテンツを翻訳出版した中国の出版社が会員向け直販



# BIBF 会場ショット ①: 日本からの出版社



Company Name	出版社名	業種
ASA Publishing Co., Ltd.	青林出版	共同
ASAHI SHIMBUN SHUPPAN	朝日新聞出版	共同
ASCOM Co., Ltd.	株式会社アスコム	共同
BENET Publishing Co., Ltd.	有限会社ベレ出版	共同
CHUOKUZAI GROUP PUBLISHING, INC.	株式会社中央経済グループパブリッシング	娯楽
CROSS MEDIA PUBLISHING	株式会社クロスメディア・パブリッシング	共同
CROSS MEDIA LANGUAGE	株式会社クロスメディア・ランゲージ	共同
Futami-Shobo Publishing Co., Ltd.	株式会社二葉書房	共同
Gakken Inc.	株式会社Gakken	共同
Gado Shuppan Co., Ltd.	吉岡出版	共同
HOMEISHA Inc.	株式会社ホーム社	共同
Hosoken Corporation	株式会社浩研	共同
IMAJINSHA	株式会社今人舎	共同
Iwanami Shoten Publishers	株式会社岩波書店	娯楽
JYU KOKUMINSHA Co., Ltd.	株式会社自由国民社	娯楽
KADOKAWA CORPORATION	株式会社KADOKAWA	娯楽
Kaokura Publishing Co., Ltd.	株式会社青空出版社	共同
KIN-RO-HOSHI Sha	金の星社	娯楽
KODANSHA	講談社	娯楽
KUMON Publishing	くもん出版	娯楽
MAAR-isha Publishing Co., Ltd.	マール社	共同
MAGAZINE HOUSE	マガジンハウス	娯楽
MEDICAL VIEW Co., Ltd.	株式会社メジカルビュー社	娯楽
Midori Shobo Co., Ltd.	株式会社緑書房	共同
NHR Publishing, Inc.	NHR出版	娯楽
Nikkei Business Publications, Inc.	株式会社日経 BP	娯楽
NISHIMURA Co., Ltd.	株式会社 西村書店	共同
Nirensha Co., Ltd.	株式会社理研社	共同
Sanctuary Publishing Inc.	株式会社サンクチュアリー・パブリッシング	共同
Sekaijuku Holdings, Inc.	株式会社世界文化ホールディングス	共同
SHINSHON PUBLISHER CORPORATION	株式会社新日本出版社	共同
SHINSEI Publishing Co., Ltd.	株式会社 新書出版社	共同
Shogakukan Creative Inc.	株式会社小学館クリエイティブ	共同
SHOWADO CORPORATION	株式会社昭和堂	娯楽
SHUISHA INC.,	株式会社集英社	娯楽
SHUFU TO SEIKATSU SHA	主婦と生活社	娯楽
SHUFUNOTOMO Co., Ltd.	株式会社 主婦の友社	共同
The Japan Times Publishing	株式会社ジャパンタイムズ出版	共同
TOHAN CORPORATION	株式会社トーハン	共同
TOHO SHOTEN CO., LTD.	株式会社東洋書房	娯楽
TOKYO SHOSHU CO., LTD.	東京書籍株式会社	娯楽
TOYO KEIZAI INC.	東洋経済新報社	娯楽
YUSABU	ユサブル	共同



# BIBF 会场ショット②：優良ブランド展示



# BIBF 会场ショット③：児童書



# BIBF 会場ショット④： ネット出版展示

中国の伝統文化の物語の知的財産展示エリア

今年のブックフェアは、デジタル展示会のレベルを向上させ、新しい文化の形態とモデルを積極的に育成することに焦点を当てています。オンライン出版ホールは、オンライン文学やオンラインゲームなどの新興出版分野の多くの優れた製品を集め、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、人工知能などの新しい生産性の出版分野での応用に焦点を当て、展示会の双方向性と参加性を高め、産業統合を促進します。China Animation、Tencent、NetEase、Sanqi Mutual Entertainment、Douyin、China Literatureなど、多くの大手オンライン出版社も、ゲームやオンライン文学の海外ビジネスを紹介することに注力します。

新たに設置された「オンライン文学特別展示エリア」は、オンライン文学作家のリソースを集約し、オンライン文学の多様な魅力と価値を、本の作品、短編映画、ビデオ、文化のおよび創造的な周辺機器などのさまざまな形で総合的かつ立体的に展示していることは注目に値します。昨年、自社開発の「デジタルヒューマン」マルコポーロの発表後、同社の主催者は、「第14次5カ年計画」期間中に、新しい小売、新しい読書、新技術への出版統合の革新的な成果を展示し、観客はVR作品、Tuyang World、その他の製品を通じて、科学技術の波の中で文化の反復的な再生を目撃することができます。

さらに、ブックフェアは「中国伝統文化ストーリーIP展示エリア」も設置し、黒神話などの伝統文化ストーリーIPの展示に焦点を当てています。悟空、哪吒、フォンシェンパン、敦煌など、より高品質の出版製品と映画やテレビ、アニメーション、ゲームの統合を促進し、優れた中国の伝統文化を複数のチャンネルを通じて広めています。



# 式 中国出版業界概況報告2024

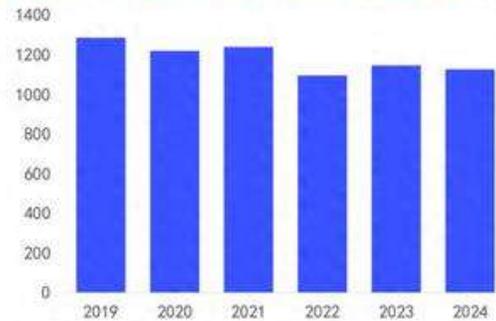
「开卷2024年图书零售市场年度报告」『中国出版传媒上报』2025-01-08  
「一升一降！业内如何看待一季度图书市场？」『中国新闻出版广电报』2025-05-26  
「黄志坚主讲出版业和出版集团变革转型」『远集坊第69期』2024-11-13  
「2025年出版业：变革与机遇并存」『国际书业动态』2025-5-23  
「深度观察：2025年，童书市场真的要崩盘」『中国出版传媒商报』2025-6-11  
等を参考にしました

精品出版物展  
Premium Books

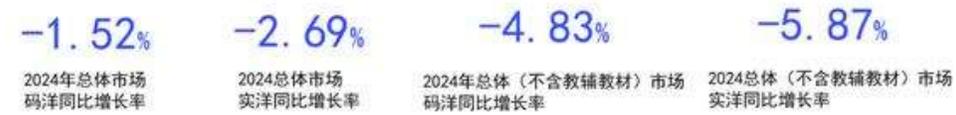
# 販売実績と販売ルート 下降線をたどる業界

- 2024年書籍市場の名目売上1129億元、前年比4.83%減、2019年の88%
- 従来のリアル書店（売上比率13.99%）、プラットフォーム型ネット商ルート（40.92%）の退潮、コンテンツ型ネット商（抖音、小红书、SNS）ルート（30.38%）はショートビデオによる値下げ販売により売り上げを伸ばす
- コンテンツ型ネット商では児童書・ノンフィクションが好調
- 出版集団別市場影響力トップ3：中国出版集団、中信出版集団、広州開心文化図書株式会社
- 出版社別市場影響力トップ3：中信出版集団、湖南教育出版社、北京聯合出版公司
- 出版公司（民間企画編集出版社）別市場影響力トップ3：広州開心文化図書株式会社、北京磨鉄文化集団株式会社、中南博集天卷文化伝媒有限公司

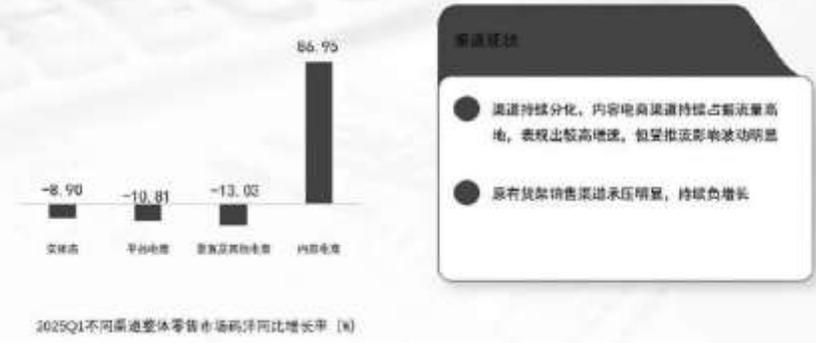
整体零售市场码洋规模波动下降



1129亿  
2024年零售市场推总码洋规模



内容电商渠道高速增长，带动整体市场转为正向增长

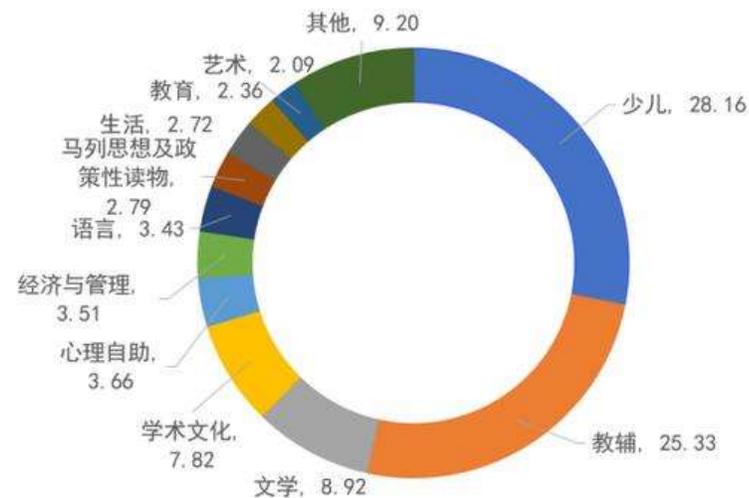


# 売行き良好ジャンルとタイトル

## 生活書と学参

- 伸びたジャンル：生活・学参・言語・自然科学・児童・教育
- 生活部門：中医保健と食事療法関連が好調、特にコンテンツ型ネット商での販売が効果的
- 学参・自然・児童部門：学習漫画好調が影響
- フィクション部門：著名作家・古典名著・ネット文学の紙本出版が好調、また『ナーダ』『黒神話』のIP図書が人気
- ノンフィクション部門：心理のセルフケア・成功物語・健康・家庭教育・DeepSeek関連が好調
- 児童書市場地滑りの的崩壊の序曲？：Z世代の親2.3億人とα世代の児童1.8億人の市場、読者の減少・市場飽和・消費落ち込み・ルートの変化・値崩れ
- AI時代の消費性向の変化：IP+教育科学技術を駆使した、立体絵本、図版満載、オーディオ付き、双方向型ゲーム、など
- 2024年度注目度NO.1：《额尔古纳河右岸》（総合），《回话有招：高情商回话术，开口就让人喜欢》《工程师之魂：比亚迪三十而立（1994-2024）》（ノンフィクション）《国之脊梁：中国院士的科学人生百年》（児童）《十八岁出门远行》《余华，フィクション》...

偏刚性需求类逆势增长，相应类别在内容电商渠道增长明显



2024年零售市场二级分类市场码洋比重结构(%)

# 求められる販売モデルの変革 伸びるデジタル出版

- ▶ ショートビデオ販売で好調：科学技術・健康養生
- ▶ デジタル閲覧方式が定着：2023年の接触率80.3%
- ▶ デジタル出版業界の市場規模は16179.68億元、前年比19.08%増
- ▶ デジタル出版：ネット文学・ネット教育出版物・デジタル音楽：ネットアニメ：ネットゲームなどの信仰領域が好調
- ▶ 大型国有出版社の市場占有率一層高まる：中小出版社は市場のパイ減少・コンテンツの同質化・利益構造弱体化



2020年12月～2024年12月のオンライン文学のユーザー規模及び使用率の推移



(中国互联网络信息中心 (CNNIC) が発表した第 55 期「中国インターネット発展状況統計レポート」より)

中国のデジタル出版市場：中国国産漫画を中心に、  
2025年3月、ジェトロ・上海事務所

# 「出版業界は千年に一度の転形期にある」 中国出版集団トップが講演



講演する中国出版集团有限公司董事長、党組書記黃志堅氏、2024.11.13

5Gに代表されるモバイルインターネット技術を主軸に、人工知能やビッグデータなどの技術を推進力とする次世代技術革命は、出版業界をはじめとするマスメディアを取り巻く環境、そしてマスメディアそのものを大きく変化させ、また変化させ続けている。その変化は大きく分けて3つある。

第一は、文化的コミュニケーションのパターンの大きな変化である。第一に、コミュニケーション・キャリアの変化である。伝統的な書籍、新聞、雑誌、そしてラジオやテレビは依然として存在し、伝統的メディアの主流である世論誘導力は依然として計り知れない重要性を持っているが、**オンライン・ネットワーク・コミュニケーションは、世論のより重要な分野となった**。第二に、コミュニケーションモデルの変化である。**「分散型」コミュニケーションモデルが主流となり、ネットワーク・ノードのいずれかがコミュニケーションの中心となることができるようになった**。第三に、コミュニケーション主体の変化である。新聞社、出版社、ラジオ局、テレビ局などを基本運営主体とする当初のコミュニケーション・パターンが分裂し、基本運営主体としてのコミュニケーション機関と個々のメディアが共存する**「アトム化社会」**となった。

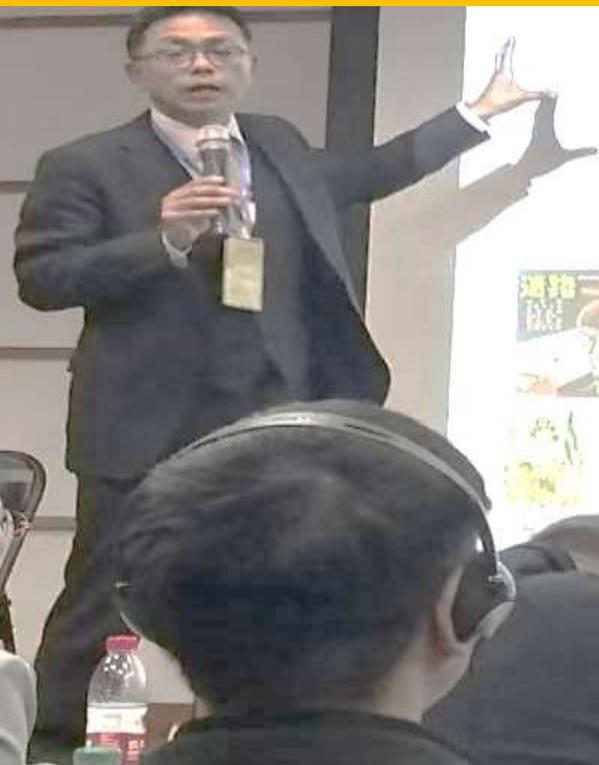
第二に、出版業界の大きな変化である。出版業界の新たな参加者は、**インターネットメーカーや電子商取引プラットフォーム**徐々に変化している。書籍の販売モデルは、プラットフォーム経済の進化とともに、明らかなトラフィック主導のモデルを示し、**内容よりも価格が競争の核心要素になり、書籍の内容価値や読書価値から逸脱している**。同時に、テクノロジーによって時間区分がますます精密化し、ネットワークによって情報が爆発的に増加し、**観客の関心は細分化されて、読書の軽薄短小化、面白主義、アクセス量至上主義上のネット文化に裏打ちされて、深い読書、体系的な読書、深刻な読書は徐々に消失している**。この産業パターンの変化は、出版と読書の質に大きな影響を与えている。黄志堅氏は、伝統的な読書が持っていた儀式性や畏敬の念が失われつつある、あるいは失われてしまったのではないかと考えており、現在は断片化された読書の時代に入っているという。

第三に、出版という仕事自体の大きな変化である。出版製品は、本来の表現形式を突破し、書籍という形式との豊かなマッチング、相互作用、補完の形態が出現している。編集、印刷、流通を主とし、著者から編集者、読者という直線的な制作のつながりであった伝統的な制作過程が、**ネットワークによるコンテンツ制作**という新たな方法によって衝撃を受け、さまざまな結節の境界が徐々に崩れ、機能が徐々に統合され、秩序が徐々に横断的に変化している。**テンポの速い、ファストフード的な生産と消費**は、出版組織の思考様式と管理メカニズムに衝撃を与えている。

“剧画”与青年漫画杂志的诞生

参

停滞する日中人文系知識交流  
活況を呈する日中大衆文化交流



## 日中学術交流 空白の10年+

- 2005年 靖国神社公式参拝、2010年 尖閣諸島領有権問題
- 2013年～ 国交正常化以来、最悪の日中関係
- 2013. 10. 22 「新しい日中関係を考える研究者の会」（代表・毛里和子）
- 2014年 反間諜法施行、中国での日本人の拘束
- 2020-22年 コロナ禍 2022年 経済安全保障推進法
- 中国では…長期訪問しない日本人研究者、日本人が介在しない日本研究、日本人のいない国際シンポジウム
- 日本では…中国を避けて台湾との学術交流、中国研究の成果はもっぱら国内向け
- メディア空間を覆う「中国なき中国認識」…現実中国に対する無理解無関心のなかの嫌中感情

# 専制主義一辺倒ではない

2、3年前の中国に関するメディアの話題と言えば「ゼロモンの横行」「微小粒子状物質」「PM2.5」による大気汚染、中国人旅行者のマナーの悪さだった。事後どうだったかの検証報道は乏しい。その結果、北京の空は汚れている、中国人は衛生観念が低く公衆道徳に欠ける、という思い込みだけが、多くの日本人の脳裏に定着している。

その二七七年について言う、確かに中国の出版業界も海賊版が後を絶たない実態



## 中国像

北京大教員 馬場 公彦



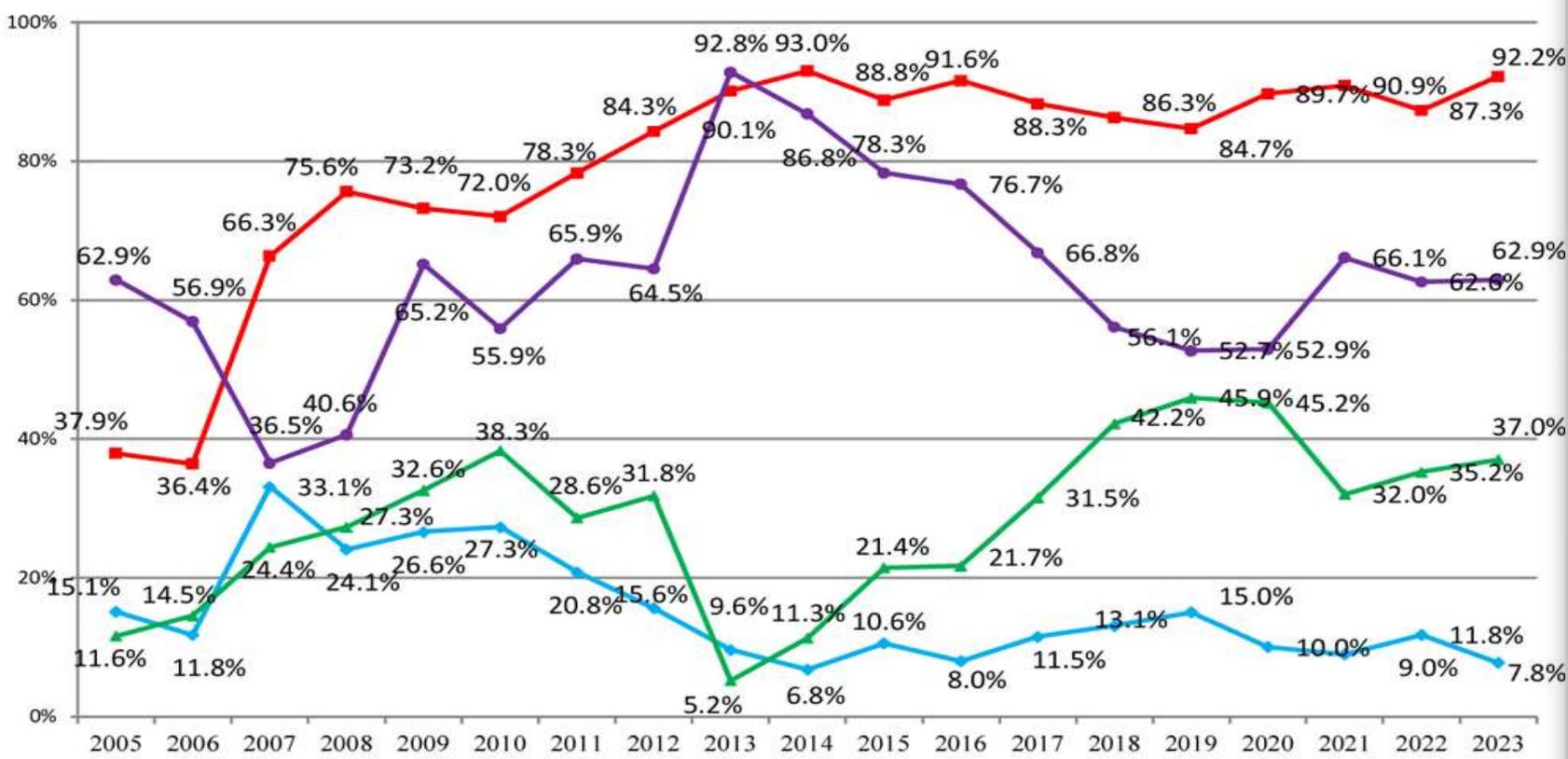
ぼくは「きみひこ」1958年生まれ。日本出版界35年間勤務した後、中国に渡り現職。著書に「戦後日本人の中国像」など。

に頭を痛めている。だが、著によって知財権を保有する「著作権者」については6月1日(第10条)とされている。この民法は中華人民共和国から施行される著作権法第3次改正で賠償額が大幅に引き上げられることになり、法務省の期待を集めている。この背景に自国オリジナルの知的財産を開発して保護したい一編として生命権、肖像権、プライバシー権など多岐にわたる権利がある。これらは外国の先進的成果を輸入する際に主眼が置かれてきたが、知的財産権保護の国際ルールに合わせながら、いよいよ輸出戦略へと舵を切ろうとしているのである。今年1月1日から施行された民法典においても「民事主体は法律

に規定がない場合は公序良俗に反しない習慣に従う(第10条)とされ、国策やイデオロギーとは根拠として立てられない。確かに中国は三権分立ではないが、民法には行政と民事の境界線が明確に引かれていないのである。中国は絶対貧困層の撲滅を完了したとしている。これは金持ちだけでなく国民全員が豊かになりたいし、獲得した幸福感を失いたくない。誰もが私権を保護、保障して法的後盾を求めたい。民法には民事空間において侵害されない個人格権と、民生を定める人々の願いが集約されている。

この民法典や改正著作権法の施行について、日本での報道は極めて乏しい。かくして民法ではなく人治の国だから人民はイデオロギーに縛られる権利は厳しく制限されている、監視社会だからプライバシー保護には無頓着、という

## 【相手国に対する印象】

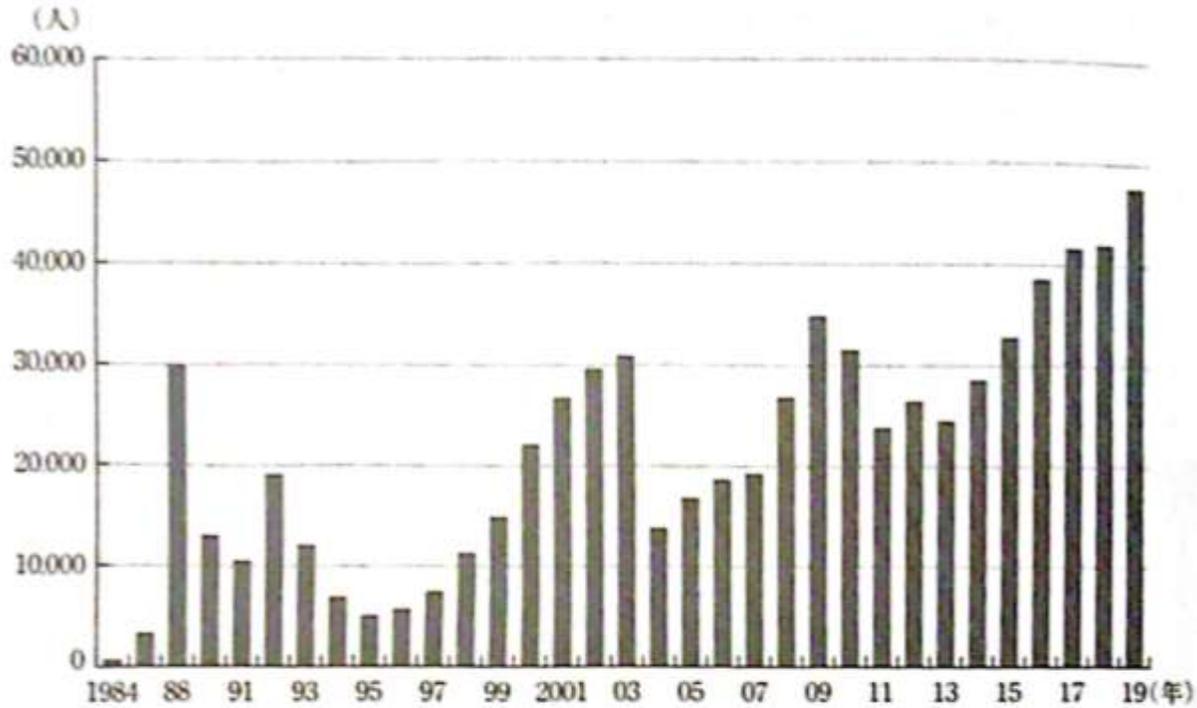


- 日本世論：良い印象を持っている/どちらかといえば良い印象を持っている
- 日本世論：良くない印象を持っている/どちらかといえば良くない印象を持っている
- ▲ 中国世論：良い印象を持っている/どちらかといえば良い印象を持っている
- 中国世論：良くない印象を持っている/どちらかといえば良くない印象を持っている

特定非営利活動法人言論NPO「第20回日中共同世論調査  
日中世論比較結果」  
<https://www.genron-npo.net/world/archives/20131.html>

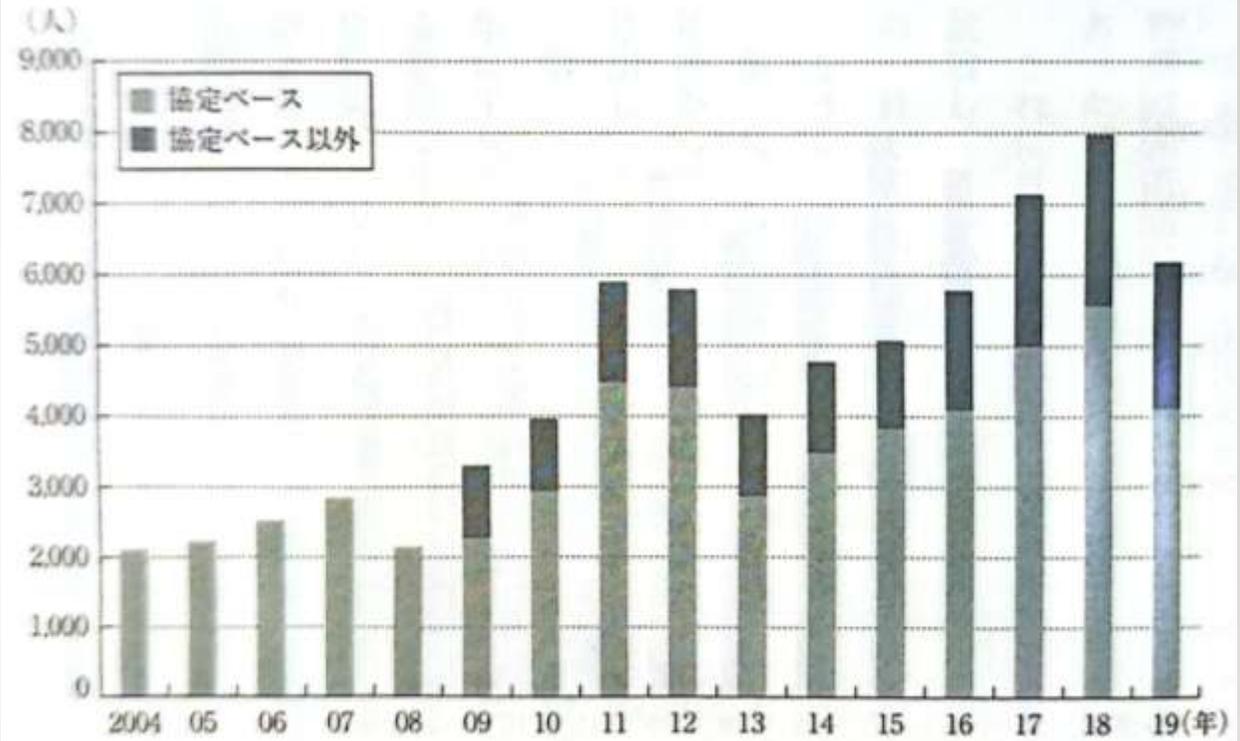
## 堅調な民間交流・留学生交流

- 友好協会・自治体・経済貿易団体・各種NPO・財団・教育機関を中心に、各分野で交流活動継続
- 2022年 日中国交正常化50周年 日本政府認定の226件の記念事業
- コロナ禍 オンライン開催に切り替え交流を継続
- 留学生交流 中国から日本への留学生数は増加  
日本から中国への留学生数は漸増



(出所) 法務省入管白書出入国管理 (1984-2018) 及び出入国在留管理 (2019) から筆者作成。なお2003年以降の情報は、以下のリンクからアクセスできる、[https://www.moj.go.jp/isa/policies/policies/seisaku\\_index2.html](https://www.moj.go.jp/isa/policies/policies/seisaku_index2.html) (最終アクセス2022年4月18日)

図12-2 「留学」の在留資格による中国人新規入国者数の推移：1984-2019年



(出所) 日本学生支援機構日本人学生留学状況調査、<https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/nippon/index.html> (2022年4月18日最終アクセス)

図12-8 中国の日本人留学生数の推移：2004-2019年

ファーラー・グラシア、ファーラー・ジェームス「国際人流——不均質でトランスナショナルな空間の形成」高原明生、園田茂人、丸川知雄、川島真編『日中関係 2001-2022』東京大学出版会、2023年

## 盛り上がる大衆文化交流

- Z世代若者を中心として日中間の文化・芸術分野の創造的コンテンツの交流が活発
- 世界のコンテンツ市場における日本の輸出額世界第3位
- エンタメ・クリエイティブ産業の輸出額は鉄鋼産業に匹敵
- 2013年 クールジャパン
- 10-20歳代の日本の若年層は対中悪感情を持っていない
- 小学校ではクラスに1.2名いた中国人
- 日中の民間青年交流が盛ん
- 中国側は留学や観光などで日本を訪れる機会が多い
- 日本のエンタメクリエイティブコンテンツへの親近感

2022年の中国のコンテンツ・エンタメ市場規模は5兆3,782億元（約113兆円、1元=21円）であり、GDPに占める割合は4.46%であった。同年は、新型コロナウイルスの影響もあり、GDP比は前年よりやや低下している。

中国のコンテンツ・エンタメ市場規模

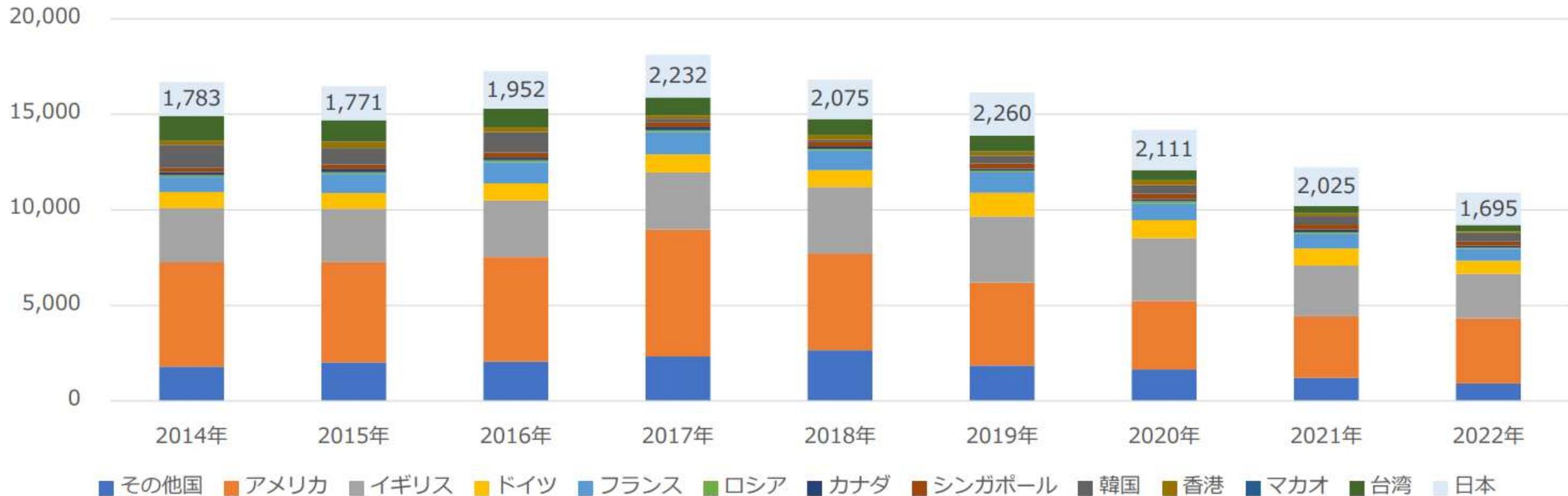


出所：国家統計局が発表した2012～2022年「文化及相关产业增加值」に基づき作成

<https://www.stats.gov.cn/>

市場が拡大し続けていることとは対照的に、海外コンテンツのIP輸入件数は2017年がピークで、その後は減少傾向が続いている。特にアニメ、映画、ゲーム等の分野においては、近年、中国文化が浸透して、中国コンテンツが著しく成長したこと、インターネット上のコンテンツ規制、コロナ禍における外国作品の本数減少等が原因と思われる。

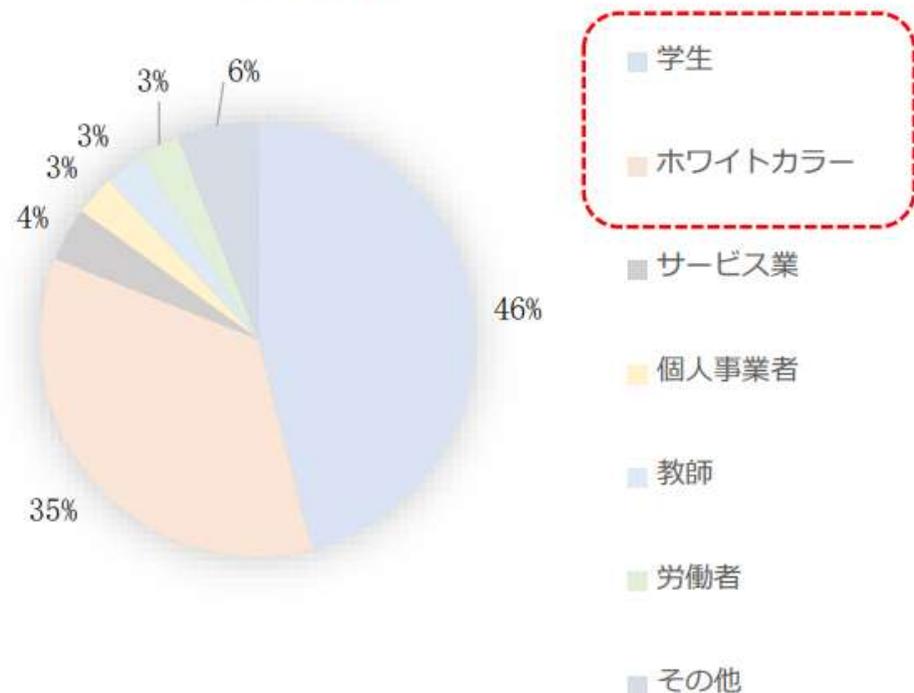
中国における海外コンテンツIP輸入件数の推移



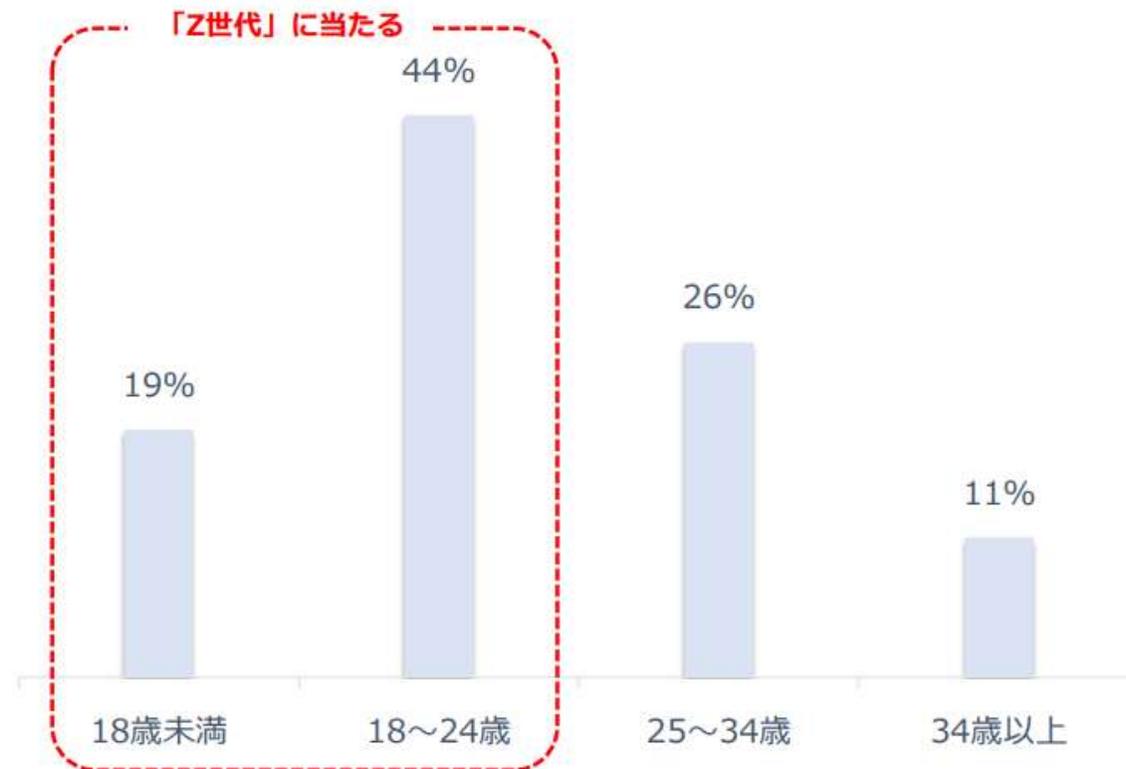
出所：国家統計局が発表した2014～2022年「輸入著作権総数」に基づき作成  
<https://www.stats.gov.cn/>

消費者の職業分布を見ると、比較的若い学生とホワイトカラーが合計で81%と大半を占めている。これらの層の特徴としては、相対的に、時間的、金銭的な余裕があること、趣味への支出を惜しまないこと等が挙げられる。また、コンテンツ消費の中心を構成する層と言われている「Z世代」にあたる24歳以下の若者の総人口は、コンテンツ消費者人口総数の過半数を占め、3億人を超えている。

コンテンツ消費者職業別分布 (2022年)



コンテンツ消費者年齢別分布 (2022年)



出所：「灼识咨询:2022中国二次元内容行业白皮书」2022年8月  
<https://www.docin.com/p-3592833195.html>

出所：「灼识咨询:2022中国二次元内容行业白皮书」2022年8月  
<https://www.docin.com/p-3592833195.html>

## 世界のコンテンツ市場の規模

- 世界のコンテンツ市場規模の推移を見ると、日本は世界第3位。2022年は13.1兆円。
- 中国は、2013年に日本を抜き世界第2位へ。2022年時点で日本の2.5倍の市場規模。

世界コンテンツ市場の規模の推移



(出所) 令和6年9月9日コンテンツ産業官民協議会 (第1回)・映画総務企画委員会 (第1回) (配布資料2)

## コンテンツ産業の世界市場・我が国輸出額規模の相場感

- 世界のコンテンツ市場の規模は、石油化学産業、半導体産業よりも大きい。
- 日本由来コンテンツの海外売上は、鉄鋼産業、半導体産業の輸出額に匹敵する規模。

コンテンツ産業の世界市場規模



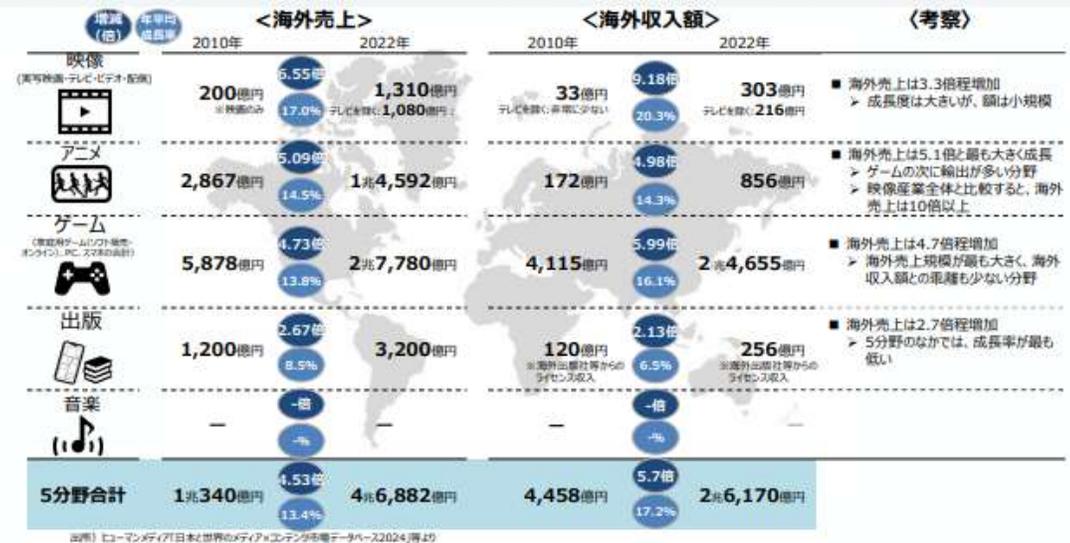
我が国の産業の輸出額等の規模感比較



(注) 2022年のデータ (注) 2022年のデータ (ただし、石油化学産業のみ2021年のデータ)  
 (出所) 以下を基に作成。  
 鉄鋼 世界市場…株式会社グローバルインフォメーション「鉄鋼の世界規模、2027年に1兆296億米ドル到達予測」  
 コンテンツ 世界市場…PwC「グローバル・エンターテインメント&メディアアワード2023-2027」  
 石油化学 世界市場…株式会社グローバルインフォメーション「石油化学産業の世界規模、2027年に7867億4000万米ドル到達予測」  
 半導体 世界市場…WORLD SEMICONDUCTOR TRADE STATISTICS (世界半導体市場統計)

## 日本のエンタメ・クリエイティブ産業の海外売上・海外収入額① (2010年-2022年)

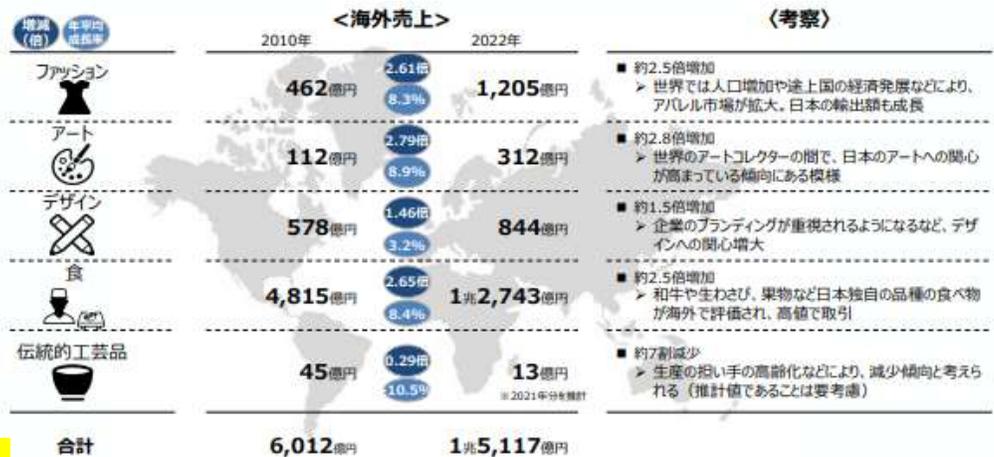
- 海外売上は、コンテンツ全体で増加。一方、映像や出版は国内市場規模に比して小さいなど、分野によって濃淡が存在 (音楽についてはデータが存在していないという課題もある)。
- また、海外売上うちの収入額に着目すると、ゲームを除き、売上の多くは海外企業に流れている現状が見える。



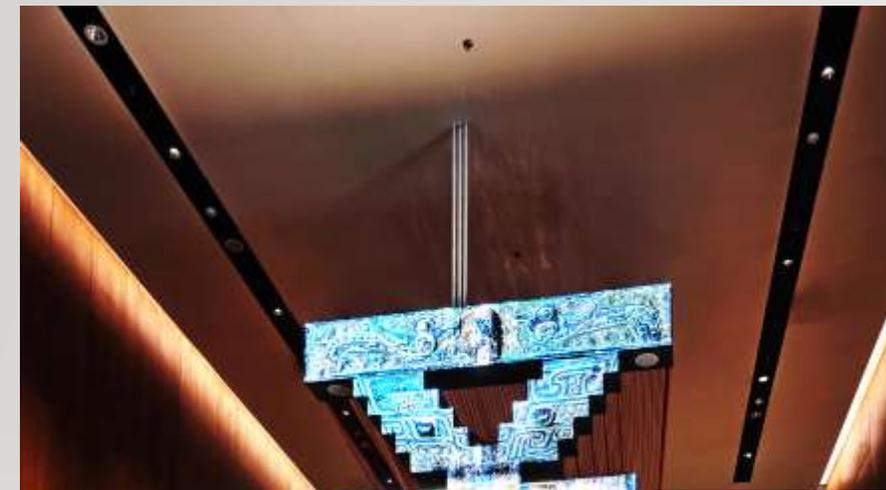
(出所) ヒューマンメディア「日本と世界のメディア/エンタメ市場データレポート2024(第4版)」

## 日本のエンタメ・クリエイティブ産業の海外売上・海外収入額② (2010年-2022年)

- アートやファッション等の輸出額についても、この10年で大きく伸長。人口増加や途上国の経済成長を取り込めている。また、インバウンドによる訪日消費額についても拡大。



(出所) ファッション…「服飾品」貿易統計、アート…「美術品」貿易統計、食…「日本産の食品」貿易統計、デザイン…「日本のデザインサービス産業」貿易統計、伝統的工芸品…「日本の伝統的工芸品」貿易統計



肆

# 中国文化的新潮流





# 日本における現代中国文学の偏った受容

- 『季刊中国現代小説』（蒼々社） 1987-2005年の間に75集発行、収録作品の作者総計145名、収録した翻訳作品総数320篇
- とりわけ多い女性主義の立場に立った女性作家の作品（訳者の多くが女性）
- 1987-2018年の間、『中国現代文学』『火鍋子』『灯火』などに収録された中国女性作家作品総数180篇、書籍として出版されたもの60部
- 日本は世界最大の中国文学作品の翻訳大国か？
- 日本の大学の中国研究は近代以降、文学部のなかの文学科・哲学科・史学科が担う ⇒ 日本の中国図書翻訳は「文史哲」偏重
- 研究者向け雑誌以外で一般読者が翻訳出版を通して中国文学作品に触れる機会は少ない、哲学・史学はいっそう少ない
- 大胆な性愛描写で話題となった衛慧『上海ベイビー』、ノーベル文学賞受賞の莫言、人気作家の余華・金庸、体制批判的な閻連科の社会派小説、英訳で話題になり早川書房が翻訳した劉慈欣など
- 個人の内面や表現の独自性に拘る前衛小説、中国社会の周縁部の港台小説に注目
- 中国現代・当代文学の本流である革命文学や工農兵文学が死角になっている
- 中国の本土性・郷土性・ルーツ・現実性から遊離

# 中国現代文学の死角

作为可能性的路遥文学  
——通过阅读《人生》《平凡的世界》得到的启示

「日」马场公彦  
北京文学外国语学院副教授

## 前言：未被日本接受的路遥文学

《人生》和《平凡的世界》是作家路遥的代表作，都产生了很大影响。《人生》获得1981-82年“全国优秀中篇小说奖”，后被改编为电影、电视剧。《平凡的世界》获得第三届“茅盾文学奖”，后被改编为电视剧。路遥作品的总印数，据说仅北京十月文艺出版社就已超过两千万册。路遥的评传、传记作品有多部，关于他作品的评论更多，上述事实表明，尽管关于路遥的文学史定位仍有保留意见，但说路遥是中国当代文学史上的知名作家，应该不会有争议。

但在海外文学界，路遥和他的作品都鲜为人知。其中，就连引进中国文学作品最积极的日本，对路遥作品的引进，也仅有一本2009年由安本实翻译的作品集<sup>1)</sup>。可以说，无论是作家还是其作品在日本的认知度都很低。<sup>2)</sup>这其中的原因，我想有以下几点：第一，路遥在中国国内过于受欢迎，以至于人们都仅把他当作大众通俗文学作家。第二，路遥的作品富有浓郁的社会主义现实主义传统色彩，研究者们认为从文学史的角度来看没有新意，故而并未积极将其作为研究对象。第三，路遥的小说大多以陕北地区为舞台，含有大量陕北的风土人情和方言，翻译难度较大，因此被敬而远之。第四，作品

1) 安本实编译：《路遥作品集》，中国书店，2009年。  
2) 这是最早经过路遥研究社授权在日本发行的译本，参见路遥，《曹国良史观与文学研究——从文学史与翻译研究》，人民出版社，2014年，第170-182页。

- 路遥『平凡な世界』（1986）『人生』の合計発行部数が2000万部超、毎年の年刊ベストセラーの10位以内の常連
- 『平凡な世界』全3巻、総字数100万字、茅盾文学賞、現代中国を代表する国民文学、テレビドラマ・映画の題材に
- 2024年、ようやく邦訳が出る
- 日本転向文学の名作とされる島木健作『生活の探究』（1937.38年）に似た読後感
- 1942年、毛沢東文芸講話 ⇒ プロレタリアートを主人公とし、階級敵を打倒する作品を ⇒ 社会主義リアリズム文学
- 「「大きな村」という近代文化の空白地延安で確立された文化制度は、共産党による支配が全国に及ぶにつれてやがて北京・上海にも波及して行く。それはまもなく文学の死滅をもたらすのであった」（藤井省三。大木康『新しい中国文学史』ミネルヴァ書房、1997年、190頁）



平凡な世界（原題『平凡の世界』） 第一部 上製  
路遥／三友陽子 訳／劉偉 監訳・発行

出版社：グローバル科学文化出版

出版年：2024年09月

コード：682p

雪漠，原名陈开红，甘肃凉州人。国家一级作家，甘肃省作家协会副主席。作品多达70余部，已被翻译成英语、法语、德语、韩语、日语、西班牙语等30多种语言。

作品入选《中国文学年鉴》和《中国新文学大系》。曾获“冯牧文学奖”“上海长篇小说优秀作品大奖”“中国作家大红鹰文学奖”“中国作家鄂尔多斯文学奖”等重要奖项。连续五次获甘肃省委省政府颁发的“敦煌文艺奖”，连续三次获甘肃省文联省作协颁发的“黄河文学奖”，入围第五屆“国家图书奖”，三次入围“茅盾文学奖”。荣获“甘肃省优秀专

家”“甘肃省领军人才”“甘肃省德艺双馨艺术家”“甘肃省拔尖创新人才”“2014年甘肃文学人物”“2015中国品牌文化十大人物”等称号。

在2022年法兰克福书展国际媒体热点话题排行榜位列第一。关注度超过了书展主宾国西班牙(Spanish Guest of Honor)，被认为是2022年法兰克福书展最惊人、最印象深刻的事件之一。



- 雪漠、作家、甘肃省作家协会副主席、茅盾文学奖始め数々の文学賞受賞歴、膨大な著作
- 30種の言語に翻訳、翻訳された著作200種ほど
- 邦訳なし
- 雪漠作品は出身の涼州を中心とする西域地区を専ら舞台とする。だが中国西部・中国・アジア・東洋などといった地域の限定を越えて、多くの読者の琴線に触れる潜在力を持っている。とくに「八百万の神」の信仰と「山川草木悉皆佛」の神観念を持ち、「万物有霊」の伝統意識のある日本人には、作品を味読する共通感覚が豊かである。しかし残念なことに、日本では、200点に上る膨大な雪漠著作のうち1篇たりとも翻訳出版されていない。雪漠の事績と作品世界を知る中国文学の専門家・翻訳家も乏しいのが実情である。

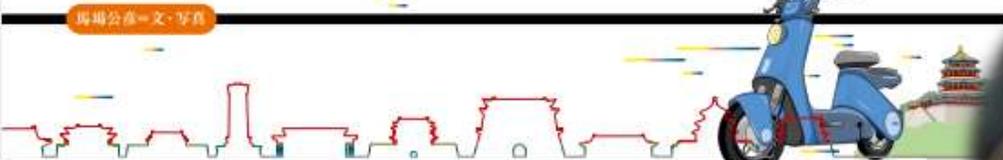
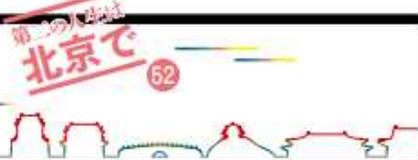
# 文学流转的力量

第三届 IAF-XMW  
雪漠作品国际学术论坛



1958年生まれ、北海道大学文学部卒業、同大学文学部大学院修士課程修了、早稲田大学大学院博士課程修了、学術博士。出版業界で35年間勤務し、定年退職後、北京大学外国语学院外語専攻を経て北京大学国際大学日本語学院・北京日本語研究センター客員教授、著書「戦後日本人の中国像」(中国語訳あり)「現代日本人の中国像」(中国語訳あり)「戦後日本人の中国像」(中国語訳あり)「戦後日本人の中国像」(中国語訳あり)等。

北京で 52



博物館でタイムトラベル

中

国の居留者として、知らない場所を旅することは楽しい。広大な大地を縦横に駆け巡ることだけが旅ではない。悠久の歴史をさかのぼる旅もまた楽しい。何せ「中華5000年」だ。空間だけでなく時間もまた広大無辺である。タイムトラベルに出かけよう。旅の交通手段はというと、博物館である。交通費は安い。

中国各地の博物館巡りを通して分かったこと。それは博物館は単に陳列された文化財を參觀する場所ではないということだ。文化財という「モノ」の展示を

通して、当時の人びとの衣食住をはじめとする日常生活や、信仰や観念や情感などの精神生活に思いをはせる、「コト」体験のための場所なのだ。

北京市東郊の通州は首都機能の一部が移転し、新興住宅地として目覚ましい発展のまなかにある。副都心としてだけではなく、近代以前まで京杭大運河の起点として栄えた。いまや運河周辺では広大な生態公園が広がり、田園風景の中を遊覧船やサイクリング、ジョギングを楽しむことができる。またオペラハウスを備えた芸術センター、都



ミニシアマシヨンプには30で複製された展示品の複製が販売されている

中心として広がる民族的出自や版図を異にする諸文化が、時には敵対し戦争を通して領土を角逐し、時には異族の優れた文化を吸収したり奪取したりすることによって、より高度な文明を構築していったそのプロセスが再現されていく。

「目で見る殷朝」展は殷の都城があった安陽を拠点として、東西南北四方に拡散した3500年前の殷文化の影響の広がり、5000年の殷の治世を通じて地方の土着文化がどのように殷文化と融合し変容していったのかを出土文化財を通して視覚的に体感できるような工夫がなされている。殷の南西のなた、長江中流域に栄えたあの巨大で奇妙な風貌の青銅器で知られる三星堆文化もまた、殷朝後期の青銅

器技術の影響下にあつて、古蜀文明と中原の殷文明との交流の結果創造された独特の文化だといふ。

殷の西方に位置する周の文王、武王が殷の封王を滅ぼして西周王朝を建国する際には、殷の優れた青銅器製造技術や、殷によって開発された甲骨や青銅器に刻まれた文字を継承した「覇商」によると、周公旦は鬼神を崇拝し大量の獣や人を犠牲にして隆盛に埋葬し神を祀った殷の習俗を革め、礼楽制度を整え社会統治の手段として社会の安定と国家の統一を図つたといふ。



青銅器の牛尊、西周後期の華山出土品、現在は北京の中国博物館に展示されている

その特別企画展として5月18日、国際博物館デーに合わせて、「目で見る殷朝(看・見殷朝)」特別展が開幕した。勤務校である北京外国語大学国際史の招待を受けて、同日、その内覧会に参加する機会に恵まれた。

二つのホールを使って、全国各地の博物館から集められた青銅器を中心に展示された338件の宝物のほぼ全てが真品。V



1962年生まれ。北海道大学文学部卒業。同大学文学部大学院修士課程修了。京都府立大学文学部助教授・講師を務め、出版業界で25年間勤務し、定年退職後、立正大学外国語学部外国語専攻科を経て北京外國語大学日本語学院、北京语言大学研究センター専攻科、東京外国語大学中国語訳訳専攻科(中国語訳訳専攻科)に現職。日本語の中国語訳(漢語)・平成時代中国語訳(中国語訳)等。

北京で 48

馬場公彦=文・写真



世界遺産登録への道

去

る7月27日、ユネスコ第46回世界遺産委員会で、北京の中軸線が「理想的な都城秩序の傑作」として世界文化遺産に登録された。本誌連載の37回で中軸線踏破記を書いた筆者としては、中華文明の核心部のパワースポットを体感した醍醐味が公認されたような気がして歓喜に浸った。

北京はこのほかにも合わせて7種もの世界文化遺産を抱える。北京は春秋時代の燕国から3000年以上の都城建設、金王朝以来900年近い建都の歴史を有する。その間、戦乱や災害などによる大規模な破壊を被ることなく、文化遺産が地層のように堆積し、古都の風貌が比較的良く保存されており、その歴史的価値は古文書や考古

学的調査によって科学的に検証されている。市は3D・仮想現実・VR・人工知能(AI)など先端の情報処理技術駆使した博物館の建設と公園を通して教育啓蒙活動にも積極的に取り組んでいる。

9月19・20日、例年行事の北京文化フォーラムが開かれ、70余りの国と地域から800人を超える人が参加し、パネリストの一人として中国の文化遺産の保護と継承の実情と展望について学ぶ機会を得た。1年ぶりに訪れた、これも世界遺産の一つである京杭大運河の北端に位置する通州では、1年前は建設中あるいは未公開だった都市図書館、大運河博物館、芸術センターが完成・公開され、芸術センターでの現代劇・京劇・オペラ・ダンス・武術、雑技などの海潮豪華な



貴州省铜仁市にある万山朱砂鉱山の坑道

2024年北京文化フォーラムでのアート・パフォーマンス、北京五福中心にて、9月19日

の採掘技術と完備された生産体制で徳川財政を支え中軸線の直前に世界遺産登録された佐渡金山などが知られる。

と旅行を融合させた観光業を進展させ、地域の産業振興と持続的発展を図ることが、発表の趣旨として浸透していた。

北京でも国営工場跡地をアートスポットとして観光誘致に活用した798芸術区、2008年の北京オリンピック開催に伴い閉鎖・移転された跡地を公園・文化スポットに再生させた首钢パークなど、産業遺産の価値に脚光が当てられつつある。新中国成立初期の中国の工業生産を支え、人民の革命と建設への精神的奮闘を想起させる集団的記憶のランドマークである。

8月25日、遺産の保護について議論する国際シンポジウムが貴州で開催され、初めて貴州省を訪れる機会に恵まれた。貴州省を中心に全国各地の自然・文化(無形文化も含め)遺産保護の取り組みと、欧州各地での事例が紹介された。マインフオーラムと分科会併せて50人余りのパネリストらは、文化

アートパフォーマンスを堪能した。翻って首都東京には小笠原諸島の自然遺産のほかは、ル・コルビュジエがデザインした西洋美術館が文化遺産として世界遺産に登録されているにすぎない。グルメやアニメなどの無形文化の魅力でこれだけ多くの海外旅行者を引き付けながらも、北京の豊富な文化遺産と比べるとやや寂しい。東京は江戸遷都以降、首都の歴史は浅く、関東大震災や大空襲などにより、建造物は数度にわたって全面的な破壊・消失を被り、原像を留めるものは明治・大正期に下ったものですらすわすわしかたない。メカロボリス東京の建設は、北京が伝統的な宇宙観・世界観に則って人工的に建設されたのと違って、武蔵野台地(山の手工)と氾地の湿地帯(河川)の自然の地勢を利用した水路・水運の整備・開発や浅海の埋め立てが基礎になっている。むしろ東京の魅力は人工的構造物よりも、水辺(ウォーターフロント)を活用した水都としての快適な文化・娯楽・癒やし空間にある。

万山は明清時代から2002年に銅脈が枯渇するまで、朱砂と水銀が採掘され、日本や欧州に輸出され、「千年丹都」との別称を有するほどに栄えていた。粘板岩質の山々にながたれた採掘場の坑道を巡り、1960年代の集団主義時代にタイムスリップしたかのように復元された炭鉱街を散策し、園内に設けられた鉱工業遺産博物館の展示をガイドを聴きながら多観し、往時のにぎわいを想起した。地元関係者は交通の便が悪いため域外からの参観者が少なく、認知度が低いと嘆いていた。世界遺産登録に向けて、今後の動向を見守っていききたい。

シンポジウムに参加した万山への同行者の一人に、産業が調査し今も陶磁器生産の中心地である景徳鎮で調査している研究者がいた。彼によると、景徳鎮の世界遺産登録を実現するまでには、世界規模の貿易や産業発展への顕著な貢献度、独特で卓越した工芸技術、在地住民の分業体制を反映した集落形成の歴史などを、古文書やフィールド調査によって丹念に検証し、ユネスコの担当委員を説得していく長い道程があるという。

中国と日本をはじめ、アジアで世界遺産の登録数を増やし、インバウンド需要を高め、地域振興につなげることは、歴史的・文化的価値を再発見し、住民や国民の精神的・一体感を再認識するきっかけになる。そのためにも、地元自治体がインシアチブをとり、地域住民の協力のもと、専門家の調査研究とその公表、博物館展示や専門ガイドによる対外広報、といった地道な営為が欠かせないことを実感した。